



警察官や銀行協会をかたるオレオレ詐欺に注意！！

(事例)

大阪府警の警察官を名乗る男性が家に電話をかけてきて、「銀行のキャッシュカードをなくしたことはないか」「今捜査中で口座が凍結される」「銀行協会から連絡がある」と言われた。

すぐに、銀行協会の職員を名乗る別の男性が電話をかけてきて、「大阪府警から連絡を受けた」「すべての取引金融機関名と最終残高を教えてほしい」と言われたので答えた。「夕方訪問する」と言って、スーツを着用し黒いカバンを持った男性が家にやってきて、「安全な口座に移すのでキャッシュカードを預かる。暗証番号を教えてほしい」「口座を移したら連絡する」と言われたので、キャッシュカードを渡し暗証番号を教えた。その後銀行協会からは連絡はなく、口座から現金が全て引き出されてお金は戻ってこなかった。

(解説)

警察官や銀行協会をかたるオレオレ詐欺の新たな手口です。

同じ手口で他にも、警察官が「あなたの口座が不正に使われている」「犯人を捕まえたが、あなたの口座情報が漏れている」と言って電話をかけてくる事例もあります。また、銀行協会が「あなたの口座から引き出される可能性があるので、残高をすぐに下ろした方が良い」「職員を行かせるので、お金を下ろして、すぐに預けてほしい」と言い、お金を家に取りに来る事例もあります。

騙されないために・・・

警察官や銀行協会をかたる不審な電話があれば、一旦電話を切り、最寄りの警察署に連絡してください。おかしいなと感じたら消費生活センターに相談してください。決してお金やキャッシュカードを渡さないでください。渡してしまう前にまずは相談を。